

気軽にはじめる つづくカンタン運動療法

ストレッチ&有酸素運動

全身をほぐして体の緊張をゆるめて
安全かつ効果的な運動ができる体づくりをめざしましょう。

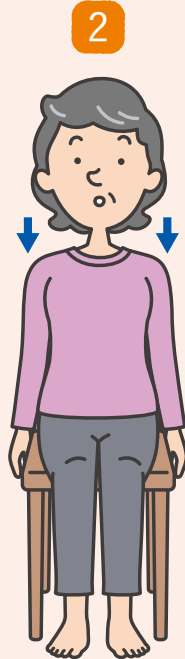
肩甲骨まわりの
筋肉をほぐす

ストレッチ

〈10回を1日2セット〉



1
両肩をギュッと
上に引き上げる



2
力を抜いてストンと
肩を下ろす

POINT
下ろしたときに
息を吐きましょう。

ふくらはぎの
筋肉をほぐす

ストレッチ

〈10回を1日2セット〉



1
椅子に座り
膝を伸ばす



2
足のつま先を
手前に引きつけ、
戻す

POINT
• 安定性のある椅子を使いましょう。
• 自然な呼吸で行いましょう。

有酸素運動

膝や腰の負担の少ない運動として、
水中歩行やノルディック歩行(2本の
ストックを使用して歩行)なども
おすすめです。





運動療法を行う際の注意事項

有酸素運動とレジスタンス運動(筋力トレーニング)を組み合わせることにより、よりよい治療効果が明らかになっています。

■ 運動をする際は、呼吸は止めずに行いましょう。

■ 力を入れる際に呼吸が止まりがちですが、血圧の上昇が起こる場合があります。ゆっくりと深い呼吸を意識して行いましょう。

■ 必ず準備体操をしてから行いましょう。

■ 運動する時間は食後1時間から1時間半くらいの時間帯に行うのが理想的です。

■ 運動は楽しく行いましょう。体調が悪いときは無理をせず休みましょう。

■ インスリン注射やお薬を飲んでいる方は、運動によって低血糖が起こる場合があるので、注意してください。

■ 適度な水分補給を心がけましょう。

■ 膝や足の関節などの病気がある患者さまは主治医に相談してから行いましょう。

糖尿病教室運営委員会・編集:第5版わかりやすい糖尿病テキスト じほう,55-56より作成
日本糖尿病学会編・著:患者さんとその家族のための糖尿病治療の手びき2020 改訂第58版,56-57より作成

監修:国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究センター 糖尿病研究センター長 植木 浩二郎 先生/関西電力病院 副院長 山田 祐一郎 先生

住友ファーマ株式会社

JADEC(公益社団法人 日本糖尿病協会) 検証済